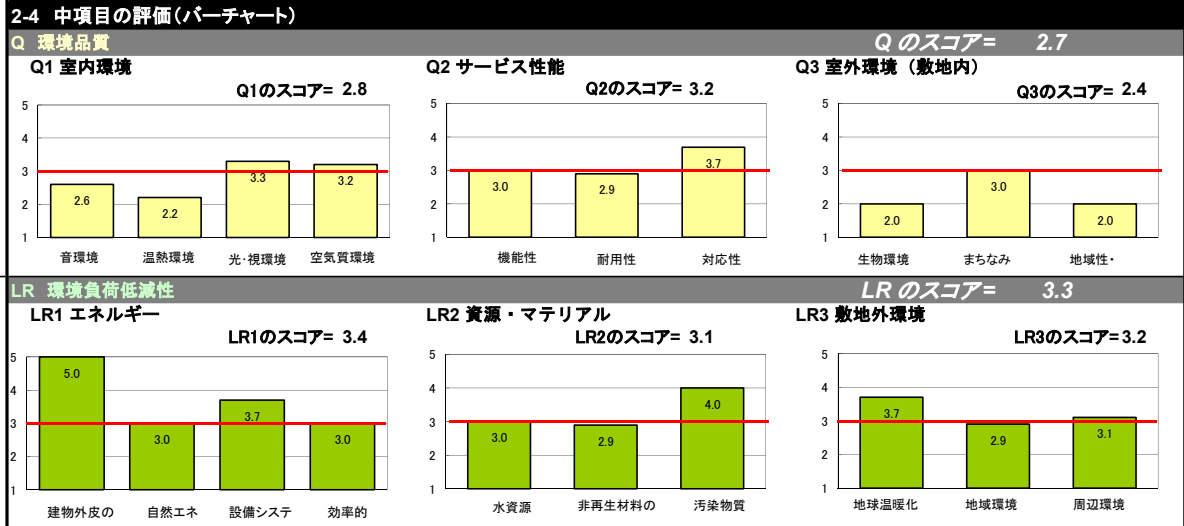
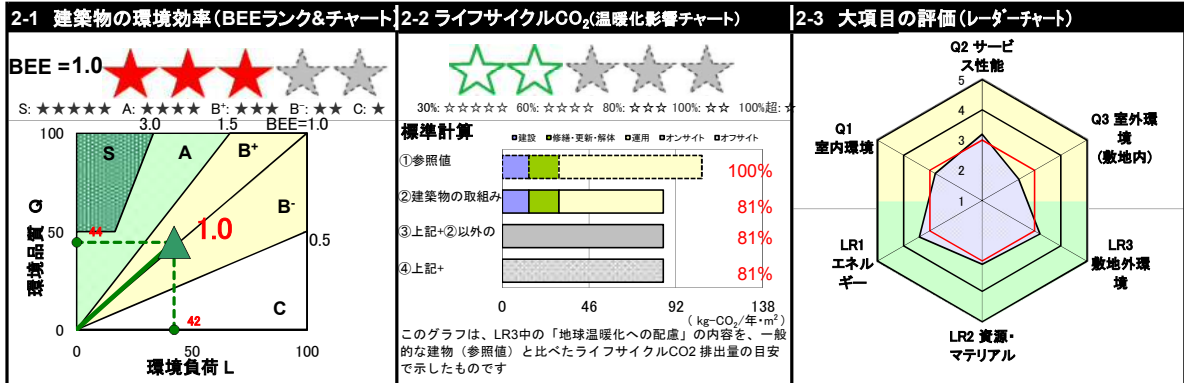


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	矢作産業(株)西尾新工場	階数	地上2階
建設地	愛知県西尾市下羽角町六反52番1	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、22条地域	平均居住人員	70人
気候区分	6地域	年間使用時間	1,900時間/年
建物用途	事務所工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 予定	評価の実施日	2018年6月18日
敷地面積	9,536 m <sup>2</sup>	作成者	金本 正広
建築面積	3,964 m <sup>2</sup>	確認日	2018年6月18日
延床面積	4,523 m <sup>2</sup>	確認者	金本 正広



### 3 重点項目

<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.7</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">2.0</p> <p>外構緑化指数 (外構緑化面積/外構面積)</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em;">34.3 %</p> <p>建物緑化指数 (建物緑化面積/建築面積)</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.5em;">0.0 %</p>
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.0</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <p>&lt;外装材に使用した地域性のある材料&gt;</p> <p>なし</p> <p>&lt;建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材&gt;</p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮  
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用  
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性  
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化  
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 =  $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 =  $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄						建物全体・共用部			建物全体・共用部			居住・宿泊部分			全体		
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄			評価点	評価点	重み 係数	評価点	評価点	重み 係数	評価点	評価点	重み 係数	全体							
		Q 建築物の環境品質																	2.7		
Q1 室内環境																	2.8				
1 音環境																	0.33				
1.1 室内騒音レベル																	2.6				
1.2 遮音																	3.0				
1 開口部遮音性能																	0.40				
2 界壁遮音性能																	0.60				
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)																	0.40				
4 界床遮音性能(重量衝撃源)																	-				
1.3 吸音																	1.0				
2 温熱環境																	2.2				
2.1 室温制御																	3.0				
1 室温																	0.63				
2 外皮性能																	0.38				
3 ソーン別制御性																	0.25				
2.2 湿度制御																	3.0				
2.3 空調方式																	0.38				
3 光・視環境																	3.3				
3.1 昼光利用																	4.2				
1 昼光率														昼光率 3.96%			0.30				
2 方位別開口																	5.0				
3 昼光利用設備																	0.60				
3.2 グレア対策																	3.0				
1 昼光制御																	0.40				
3.3 照度																	3.0				
3.4 照明制御																	1.00				
4 空気質環境																	3.2				
4.1 発生源対策																	3.2				
1 化学汚染物質																	0.25				
4.2 換気																	3.0				
1 換気量																	0.50				
2 自然換気性能																	1.00				
3 取り入れ外気への配慮																	0.30				
4.3 運用管理																	3.0				
1 CO <sub>2</sub> の監視																	0.33				
2 喫煙の制御														全館禁煙を想定			0.33				
Q2 サービス性能																	3.2				
1 機能性																	3.0				
1.1 機能性・使いやすさ																	3.0				
1 広さ・収納性																	0.40				
2 高度情報通信設備対応																	0.50				
3 バリアフリー計画														独自			0.50				
1.2 心理性・快適性																	3.0				
1 広さ感・景観 (天井高)																	0.30				
2 リフレッシュスペース																	0.33				
3 内装計画																	0.33				
1.3 維持管理																	3.0				
1 維持管理に配慮した設計																	0.30				
2 維持管理用機能の確保																	0.50				
2 耐用性・信頼性																	2.9				
2.1 耐震・免震・制震・制振																	2.9				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)																	0.31				
2 免震・制震・制振性能																	0.48				
2.2 部品・部材の耐用年数																	3.0				
1 躯体材料の耐用年数																	0.80				
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔														② 耐用年数の長い金属サイディング、ガルバリウム鋼板を採用			0.20				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔																	0.20				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔																	0.33				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔																	0.23				
6 主要設備機器の更新必要間隔																	0.23				
2.4 信頼性																	2.6				
1 空調・換気設備																	0.19				
2 給排水・衛生設備																	0.20				
3 電気設備																	0.20				
4 機械・配管支持方法																	0.20				
5 通信・情報設備																	0.20				

<b>3 対応性・更新性</b>				3.7	0.29				3.7
3.1 空間のゆとり				5.0	0.31				
1 階高のゆとり			(工場)階高6.8m (事務所)1F階高3.795m	5.0	0.60				
2 空間の形状・自由さ			(工場)197.84/3306.94 =0.059 (事務所)63.48/1216.48 =0.052	5.0	0.40				
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.31				
3.3 設備の更新性				3.2	0.38				
1 空調配管の更新性		②		3.0	0.17				
2 給排水管の更新性				3.0	0.17				
3 電気配線の更新性			(工場)ケーブルラック(露出)	5.0	0.11				
4 通信配線の更新性				3.0	0.11				
5 設備機器の更新性				3.0	0.22				
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.22				
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>				-	0.37				2.4
1 生物環境の保全と創出		独自③		2.0	0.30				2.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④		3.0	0.40				3.0
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>				2.0	0.30				2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④		2.0	0.50				
3.2 敷地内温熱環境の向上				2.0	0.50				
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>									3.3
<b>LR1 エネルギー</b>					0.40				3.4
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI <sub>m</sub> =0.70	5.0	0.08				5.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.26				3.0
3 設備システムの高効率化			LED照明の採用	3.7	0.40				3.7
4 効率的運用				3.0	0.27				3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00				
4.1 モニタリング				3.0	0.50				
4.2 運用管理体制				3.0	0.50				
集合住宅の評価				-	-				
4.1 モニタリング				-	-				
4.2 運用管理体制				-	-				
<b>LR2 資源・マテリアル</b>					0.30				3.1
1 水資源保護				3.0	0.15				3.0
1.1 節水			(事務所)節水型大便器、小便器を採用	3.0	0.40				
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60				
2 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.67				
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.33				
2 非再生性資源の使用量削減				2.9	0.63				2.9
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.07				
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.25				
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		②		3.0	0.21				
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		独自	路盤材料に再生クラッシュラン使用	3.0	0.21				
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-				
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自		3.0	0.25				
3 汚染物質含有材料の使用回避				4.0	0.22				4.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			有害物質を含まない材料を可能な限り使用	4.0	0.32				
3.2 フロン・ハロンの回避				4.0	0.68				
1 消火剤				-	-				
2 発泡剤(断熱材等)			ハロン断熱材を使用	5.0	0.50				
3 冷媒				3.0	0.50				
<b>LR3 敷地外環境</b>					0.30				3.2
1 地球温暖化への配慮		①	ライフサイクルCO2概算値:81%	3.7	0.33				3.7
2 地域環境への配慮				2.9	0.33				2.9
2.1 大気汚染防止			燃焼機器がない	5.0	0.25				
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50				
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.7	0.25				
1 雨水排水負荷低減		独自		3.0	0.25				
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25				
3 交通負荷抑制		独自	従業員駐車場、駐輪場、搬出入用トラック荷捌スペースの確保	4.0	0.25				
4 廃棄物処理負荷抑制				1.0	0.25				
3 周辺環境への配慮				3.1	0.33				3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40				
1 騒音		独自		3.0	0.50				
2 振動		独自		3.0	0.50				
3 悪臭				-	-				
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40				
1 風害の抑制				3.0	0.70				
2 砂塵の抑制				-	-				
3 日照障害の抑制				3.0	0.30				
3.3 光害の抑制				3.7	0.20				
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			目的に応じた適切な照度レベル、広告照明なし	4.0	0.70				
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30				

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
<b>① 地球温暖化対策</b>				<b>3.7</b>
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.7	0.10	
<b>② 資源の有効活用</b>				<b>3.0</b>
Q2-2	耐震性・信頼性	2.9	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.7	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.9	0.19	
<b>③ 敷地内の緑化</b>				<b>2.0</b>
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.11	外構緑化:34.3%/建物緑化:0%
<b>④ 地域材の活用</b>			(評価ポイント)	<b>1.0</b>
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式  
各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化  
重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和  
重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用  
重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■建物名称 矢作産業株式会社西尾新工場

計画上の配慮事項	
総合	周辺地域に配慮し、デザイン、色調等突出しすぎないよう生活環境への配慮を行う。
Q1 室内環境	外壁、及び窓の断熱性を強化し、快適な室内環境を確保する。
Q2 サービス性能	ゆとりのある階高、天井高とし、フレキシビリティ性の向上に配慮する。
Q3 室外環境(敷地内)	外構に緑地を施して緑の量の確保を図っています。 敷地外周には視線を遮るような樹木を配置しない等、防犯性に配慮しています。
LR1 エネルギー	LED照明を採用し、省エネルギーを図っています。
LR2 資源・マテリアル	有害物質を含まない材料を可能な限り使用しています。
LR3 敷地外環境	敷地内に十分な従業員用駐車、駐輪スペース、荷捌スペースを確保し、交通負荷に対して抑制を図っています。
その他	